



CrossCheckの ご利用について

2012/6/18

(独)科学技術振興機構 電子ジャーナル担当



CrossCheckとは？

概要説明



CrossCheckとは？

iParadigms社のiThenticateをベースに
CrossRefが提供している剽窃検知ツール

- CrossRefのオプションサービス
 - CrossRef利用学会 & 雑誌用のサービス
 - JSTがCrossRefおよびiParadigmsと契約を締結
- CrossCheck-DBにコンテンツの全文を要登録
- iThenticate(Webツール)に検査したい論文をアップロード
 - オンライン投稿審査システムとの連携も可能
- DBとの比較結果レポートをもとに、剽窃など不正の有無を

人が判断する必要がある



CrossCheckとは？

剽窃・盗作などの不正をズバリ教えてくれるわけではない

- 論文をツールにかけると、DBやWeb上の文書とテキストパターンマッチングを行い、類似率が高い文書についてのレポートが返されます。
 - 高い類似率とは何%以上なのか？30%？50%？
 - 類似率が高いとされた箇所が本当に剽窃なのか否か？
 - 実験手順、よくある表現、引用文献、著者の過去論文、

最終判断は利用者が行う必要があります

CrossCheckとは？



DBIには

- 7万タイトル以上のジャーナルや書籍など出版物の全文、Web文書にはPubMed、商用データベースのコンテンツ、一般のインターネットのページなどが含まれています。

利用出版社例: Elsevier/IEEE/OUP/Springer/Wiley-Blackwell..

ほとんどは英文

- 比較用のDBに登録されている論文等データのほとんどが英文です。CrossCheckを日本語論文にご利用される際には、日本語の比較対象が非常に少ないため、二重投稿、剽窃などの不正投稿があっても発見できない可能性が高いことをご理解の上、ご利用下さい。

バックデータをDBに登録した後なら、同じ雑誌の過去の巻号に掲載された論文との照合は可能になります。



CrossCheckとは？

不正投稿を必ず発見できるとは限りません

- 世界で出版された全ての論文がCrossCheckのDBに登録またはWeb上で公開されているわけではありません。
- 同時期に重複投稿された場合や英語以外の言語からの翻訳であった場合なども不正を発見できない可能性があります。
- 図表や数式はチェック対象外です。
- データ捏造などの不正は見抜けません。



J-STAGEで CrossCheckを使おう！

利用条件～申込みから利用開始まで



ご利用条件

- J-STAGE掲載 かつ CrossRef参加誌専用

Why? : 基本料はJSTがCrossRefに支払っている

× : J-STAGE非搭載 × : CrossRef非参加

- CrossCheck-DBへのデータ登録

- 対象ジャーナルの全巻号全データをJ-STAGE経由で登録
- CrossCheck利用中止後も削除できません

- JSTとの覚書締結

- 締結完了後にアカウントを発行します



ご利用にかかる経費

- 従量制分 75米¢/論文のみ(基本料不要)
 - この金額は、iParadigms社の都合により予告無く変更される場合があります。
 - 年会費はJSTがJ-STAGE事業費として支払いますので不要です。
- 支払は年1回、初回は来年4月初め頃
 - 利用料金は、JSTが委託した料金回収業者(決定次第ご連絡いたします)にお支払いいただきます。
 - 2013年3月末～4月初旬頃請求書をお送りいたします。請求から約30日以内(お送りする文書で期日を指定いたします)に指定の口座へお振込み下さい。
 - お振り込みが遅れた場合やお振り込みいただけなかった場合には、延滞金の加算やCrossCheckご利用を停止させていただく場合があります。



お申し込み～ご利用開始

- 利用申請書のご提出

https://www.jstage.jst.go.jp/pub/html/AY04S470_ja.html

- CrossCheckご利用案内、CrossCheck利用申込書をダウンロードし、必要事項を記入のうえJSTにご提出下さい。
必ずご利用案内を良く読んでからお申し込み下さい。
- 同じ学会が発行する複数誌で利用したい場合
 - 利用統計データ、利用料金のご請求などを分けたい場合には、**必要アカウント数の申請書**をご提出下さい。
 - 登録用のメールアドレスはiThenticateシステムログイン時のIDとして使われます。必ず**アカウント毎に異なるメールアドレス**をご準備下さい。



提出はFAX・PDF・郵送
いずれでも可

J-STAGE CrossCheck 利用申込書

独立行政法人 科学技術振興機構
知識基盤情報部電子ジャーナル担当御中

申込日 2012年6月18日


下記の通り、CrossCheck の利用を申込みます。

※ 必要に応じ申込書のご記入内容について確認をさせていただく場合がございます。
※ なお、ご記入内容は以上の目的においてのみ使用いたします。


※ 選択肢のチェックボックスに✓印をつけ、所定欄にご記入ください。

複数誌で1アカウントなら併記
別アカウント希望の場合は
申込書を分ける

必須要件

(1)ジャーナル名	情報管理			
	ジャーナルコード	Johokanri		
(2)学協会名	J-STAGE 掲載	登録中 <input checked="" type="checkbox"/>	未搭載 <input type="checkbox"/>	CrossRef 参加
	参加 <input checked="" type="checkbox"/> 未参加 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/>			
<small>(法人格がある場合はもちろんお書きください(社団法人、特定非営利活動法人など))</small>				
(3)所在地	〒102-0081 東京都千代田区四番町5-3 サイエンスプラザビル 6F			
(4)電話・FAX 番号	電話番号	03-5214-8837	FAX 番号	03-5214-8740 (任意)
(5)申込者※	所 属： 科学技術振興学会 知識基盤情報部 お名前： 科学 歩美  メールアドレス： kagaku@jst.or.jp			
所 属： 独立行政法人科学技術振興機構 知識基盤情報部				

事務局長、編集長等
でもOK、個人印可

(2)学協会名	(法人格がある場合はもちろんお書きください (社団法人、特定非営利活動法人など)) 一般社団法人 科学技術振興学会			
(3)所在地	〒102-0081 東京都千代田区四番町5-3 サイエンスプラザビル 6F			
(4)電話・FAX 番号	電話番号	03-5214-8837	FAX 番号	03-5214-8740 (任意)
(5)申込者※	所 属： 科学技術振興学会 知識基盤情報部 お名前： 科学 基盤  メールアドレス： kagaku@jst.or.jp			
(6)事務連絡ご担当者 ((5)と異なる場合のみ記入) (住所は覚書送付先を記入)	所 属： (独)科学技術振興出版社 情報管理担当 お名前： 出版 部 メールアドレス： data@jst-pub.co.jp 住所： 東京都千代田区四番町5-3 サイエンスプラザビル 7F			
(7)覚書締結者情報 (住所は(3)と異なる場合のみ、 肩書・お名前が(5)or(6)と同じ 場合には「〇〇と同」と記入可)	住所	(3)と同		
	肩書・ お名前	会長 日野本 みらい	締結 日付	2012 年 7 月 1 日
(8)CrossCheck システム 登録用情報 (※ 印刷 印刷がPDF ID になります。 電話・FAX は任意)	メールアドレス	kagaku@jst.or.jp		
	電話番号	03-5214-8837 (任意)	FAX 番号	(任意)

申込書、覚書の
問合せ・送付先

覚書の締結名義者
と住所

締結
希望日

※ 申込者は、学協会様の代表者でなく編集委員長又は事務局長名でご記入いただいで結構です。

申込書毎に異なるアドレスが必要です

JST 利用欄

ReportGroup		受理日	
FirstName1		LastName1	
備考			

ご利用にかかるご質問対応

- 技術的な内容
 - CrossCheckシステムの具体的な使い方、不具合、仕様など
⇒ **CrossCheckHPのContact**、iThenticateHPのヘルプデスク
- JSTが対応するもの
 - J-STAGE枠でのCrossCheck利用条件や、JSTとの覚書締結などの手続き関係はJSTへ。
- オンライン投稿審査システムをご利用の場合
 - J-STAGE3投稿審査システム(EMタイプまたはSMタイプ)、または学会さまの独自契約によるEditorial Manager、ScholarOne Manuscriptsとの連携については、各代理店にお問い合わせ下さい。



CrossCheck情報

- CrossCheckホームページ

<http://www.crossref.org/crosscheck.html>

- Webinar/FAQ/Contact/
- LOGO画像: 投稿審査システム、学会HPなどに貼付推奨



- J-STAGEホームページ

https://www.jstage.jst.go.jp/pub/html/AY04S470_ja.html

J-STAGETop→利用学協会の方→ご案内→CrossCheckについて

- CrossCheckご利用案内/CrossCheck利用申込書/CrossCheck覚書

- iThenticateホームページ

<http://www.ithenticate.com/>

-About/Login/





不正投稿撲滅への第一歩！

みなさまのご利用をお待ちしております

